

2011年11月10日

各位

ガイアホールディングス株式会社
(コード番号:3727 東証マザーズ)

ガイアホールディングス： 2011年12月期第3四半期連結業績を発表 中核事業の国内の売上が好調、スマートフォン向け製品が貢献

ガイアホールディングス株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役:鈴木智也、以下「ガイアホールディングス」)は本日、2011年12月期第3四半期(2011年7~9月期)業績を発表し、売上高が前年同四半期比28.4%増の25億9,450万円となり、四半期純利益4,393万円の黒字となったことを発表いたしました。

中核事業であるソフトウェア基盤技術事業の国内市場において、前年同四半期比で30%増となり、継続しているスマートフォン比率の大幅増進に同調する形となりました。また、前第2四半期比においても堅調に推移し、スマートフォン向け製品の製品売上が安定的な収益につながってきております。

また、海外市場においては、Samsung、Motorola Mobility Inc.、Huawei Technologies Co., Ltd.等の大手携帯電話メーカーのフィーチャーフォンへのJBlend搭載が引き続き強い需要を保っております。

コンテンツ・サービス等事業の主力事業会社である株式会社ジー・モードが展開する公式コンテンツ配信事業においては、総合ゲームサイト「テトリス&Get プチアプリ」で展開する「ワンダーファームリゾート ぼくと妖精のしま」や「ゴム犬のたまご」などの追加課金型コンテンツが好調を維持していることに加え、専門ゲームサイトで展開する人気RPG「フライハイトフロンティア」への月額無料コースの新設や新機能追加などが新たな会員の獲得と個別課金の売上に寄与いたしました。

また、株式会社アニメインターナショナルカンパニーによるアニメーション制作事業においては、7月から9月にTV放映いたしました「R-15」「猫神やおよろず」等が売上に貢献するとともに、10月よりTV放映を開始いたしました「ペルソナ4」「マケン姫っ!」「僕は友達が少ない」などの制作が予定通り進捗し売上に貢献しております。

ガイアホールディングスグループは、今後より一層の一体的な経営戦略の推進力強化に取り組み、特に海外市場においては、①ガイアホールディングスグループ各社がそれぞれに持つ海外での販売チャンネル、②世界的に評価の高い「日本ブランド」のゲームやアニメーション等のコンテンツ・サービス、③その土台となる世界最先端技術を駆使したソフトウェア基盤技術、等を最適に組み合わせて海外事業を強力に推進することで大きな成功を収めることができるものと考えております。

■ ガイアホールディングス株式会社について

ガイアホールディングスは、全世界の地域毎の特性を捉えた多様なグローバルビジネスを展開するため、グループ一体となった経営体制で企業価値の向上を図ることを目的として誕生しました。グループ企業には、株式会社アプリックス、株式会社ジー・モード、株式会社アニメインターナショナルカンパニー、iaSolution Inc.などがあり、各社が提供するゲームやアニメーション等のコンテンツ・サービスと、それらのコンテンツ・サービスを快適にご利用いただくための技術、品質、先進的基盤を提供すること、それがガイアグループの目指すものです。

コーポレートサイト:<http://www.gaia-hd.com/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

ガイアホールディングス株式会社 IR担当
Tel:03-5286-8436

※ 記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。